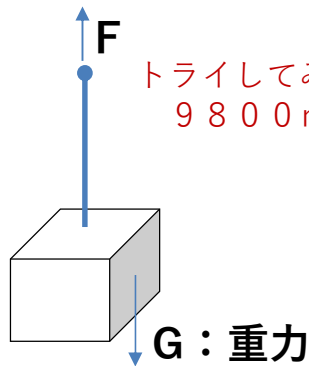


誤解：質量密度と密度、重力との関係

粘弾性、動解析にはいろいろな誤解があります。

- 1) 応力緩和、クリープ、ゴム毯のバウンド・・・、同じデータで解析可能です。
- 2) 固有値解析、周波数解析などソフトにより異なりますが、粘弾性定義が無効化されます。
⇒固有値解析は対応方法があります。ノウハウを知りたい方は問い合わせフォームで・・・。

重要：密度、質量密度の真実☆
よく見かける光景です・・・密度はton・・・



トライしてみてください、1 k g の物体に
9 8 0 0 mm/Sec²下では、解析で1 k g にならないかも・・・

最近見つけた試料で

	長さ	時間	質量	質量密度
SI単位系	mm	s	t	t/mm ³

本来は、地球の場合と月の場合で本質的な重力を考慮するための単位で
水 1 L ⇒ 1 k g ⇒ 密度 $1 \times 10^{-3} \text{kg/cm}^3$ ⇒ ...
(一部省略)

重力(9800mm/Sec²)で割って、**1.0 N · Sec²/mm⁴** です。

※このことにより地球、月での重力を加えた解析に正解が得られる。なぜ、いきなり“トン“が出てくるのだろう。